

ベンリスタは定期的な注射が必要です。  
次の来院予定までの間の注射予定日を確認しておきましょう。



医薬品リスク管理計画  
(RMP)

注射の間隔は年齢と体重により異なります。  
あなたにあった注射のスケジュールを担当医に確認しましょう。

次の来院予定  月  日  
毎週  曜日に注射  
ベンリスタ注射予定日 2週に1回  曜日に注射

1	月	日	5	月	日
2	月	日	6	月	日
3	月	日	7	月	日
4	月	日	8	月	日

## 注射時の注意

- 注射のスケジュールをまもりましょう。
- 注射を忘れたことに気づいた場合は担当医にご連絡の上、できるだけ速やかに注射してください。その後の注射のスケジュールに関しても担当医とご相談ください。
- 手をせっけんで洗い、清潔な場所で注射してください。
- 前回と同じ箇所への注射はなるべく避けてください。
- 皮膚が赤い、傷がある、硬くなっている部位には注射しないでください。
- 注射部位はもまないでください。
- オートインジェクター／プレフィルドシリンジを分解しないでください。

ベンリスタの投与中に副作用と思われる症状があらわれた場合には  
医療機関にご相談ください。

医療機関名

## ベンリスタの在宅自己注射をはじめられる患者さんおよびそのご家族の方へ ベンリスタを安全に使用していただくために

以下の方はベンリスタを投与することができません。  
● 重篤な感染症の患者さん ● 活動性結核の患者さん

在宅自己注射をはじめる前に、担当医や看護師、薬剤師から  
注射について十分に指導を受けてください。

ベンリスタには2種類の注射器があり、年齢により使用できる注射器が異なります。  
あなたの年齢にあった注射器であることを確認しましょう。

### ■ オートインジェクター

5歳以上の患者さんが使用できます。  
5歳以上10歳未満の小児患者さんには保護者の  
方が投与してください。



### ■ プレフィルドシリンジ

15歳以上の患者さんが  
使用できます。



すべての項目にチェックが入った場合にのみ在宅自己注射を  
はじめることができます。在宅自己注射をはじめる前に確認しましょう。

- ベンリスタの正しい保管方法を理解しました。
- 注射の用意（手洗い、廃棄容器の用意、常温になるまで30分待つなど）について理解しました。
- 担当医、看護師または薬剤師の指導の下、注射の練習を行い、正しい注射方法を理解しました。
- 注射後の正しい対応（廃棄方法含む）について理解しました。
- 副作用（P3を参照）とその対処方法について理解しました。
- 担当医から自己注射可能と判断されました。

わからないことがあった場合には、担当医、看護師または薬剤師にお問い合わせください。

ベンリスタの投与中に重篤な感染症や活動性結核と診断された場合には、  
すぐにベンリスタの投与を中止し、担当医にご連絡ください。

ベンリスタの使用中には次のことに注意し、必要に応じて担当医にご相談ください。

ワクチンの接種を考えているときには、事前に担当医にご相談ください。

ベンリスタの投与中は生ワクチンの接種は控える必要があります。ワクチンの接種を考えているときは、接種前に必ず担当医にご相談ください。

投与中に妊娠した可能性のある方は、担当医にすぐに相談するようにしてください。ベンリスタ投与中および投与中止後少なくとも4ヵ月間は有効な避妊を行い、授乳は避けましょう。

ベンリスタは胎盤を通過すること、乳汁中に移行することが報告されています。

B型肝炎ウイルスキャリア\*1やB型肝炎にかかったことのある方は、倦怠感\*2、発熱、黄疸、発疹、吐き気、嘔吐、かゆみなどがあらわれたら、すぐに担当医にご相談ください。

ベンリスタを投与中の患者さんでB型肝炎ウイルスの再活性化が報告されています。

眠れなくなった、不安を感じやすくなった等 (P3を参照) の症状があらわれたら、すぐに担当医にご相談ください。

ベンリスタを投与中の患者さんでうつ病、自殺念慮および自殺企図が報告されています。

ベンリスタの使用中に次のような副作用と思われる症状があらわれた場合には、ベンリスタの使用を中止し、すぐに医療機関にご連絡ください。

### 重篤な過敏症

- 自己注射した直後に低血圧や心拍数の低下、まぶたやくちびる、皮膚などの腫れ、呼吸困難といった症状があらわれることがあります。
- 場合によっては、注射から少し遅れて発疹や吐き気、疲労感、筋肉痛、頭痛、顔面の腫れなどがあらわれることもあります。

### 重篤な感染症

- 発熱、頭痛、せき、息切れ、倦怠感\*2などの症状があらわれることがあります。

### 進行性多巣性白質脳症 (PML)

- 意識障害\*3やまひ、うまく話せない、などの症状があらわれることがあります。

### 間質性肺炎

- 発熱、からせき\*4、息苦しい、息切れなどの症状があらわれることがあります。

### うつ病、自殺念慮、自殺企図

- 眠れなくなった、不安やイライラを感じやすくなった、物事に興味がなくなった、いろんなことがめんどうになった、食欲がなくなった、気分が落ちこんだ、などの症状があらわれることがあります。

\*1: B型肝炎ウイルスを体内に保有している方 \*2: 全身のだるさが強くあらわれること  
\*3: 意識がぼんやりとし、外部からの刺激やよびかけに無反応であったり、状況を正しく認識できなかったりする状態  
\*4: たんが出ない、「コンコン」といった乾いたせき